



夫木和歌抄 卷第三

利
1765
32



149

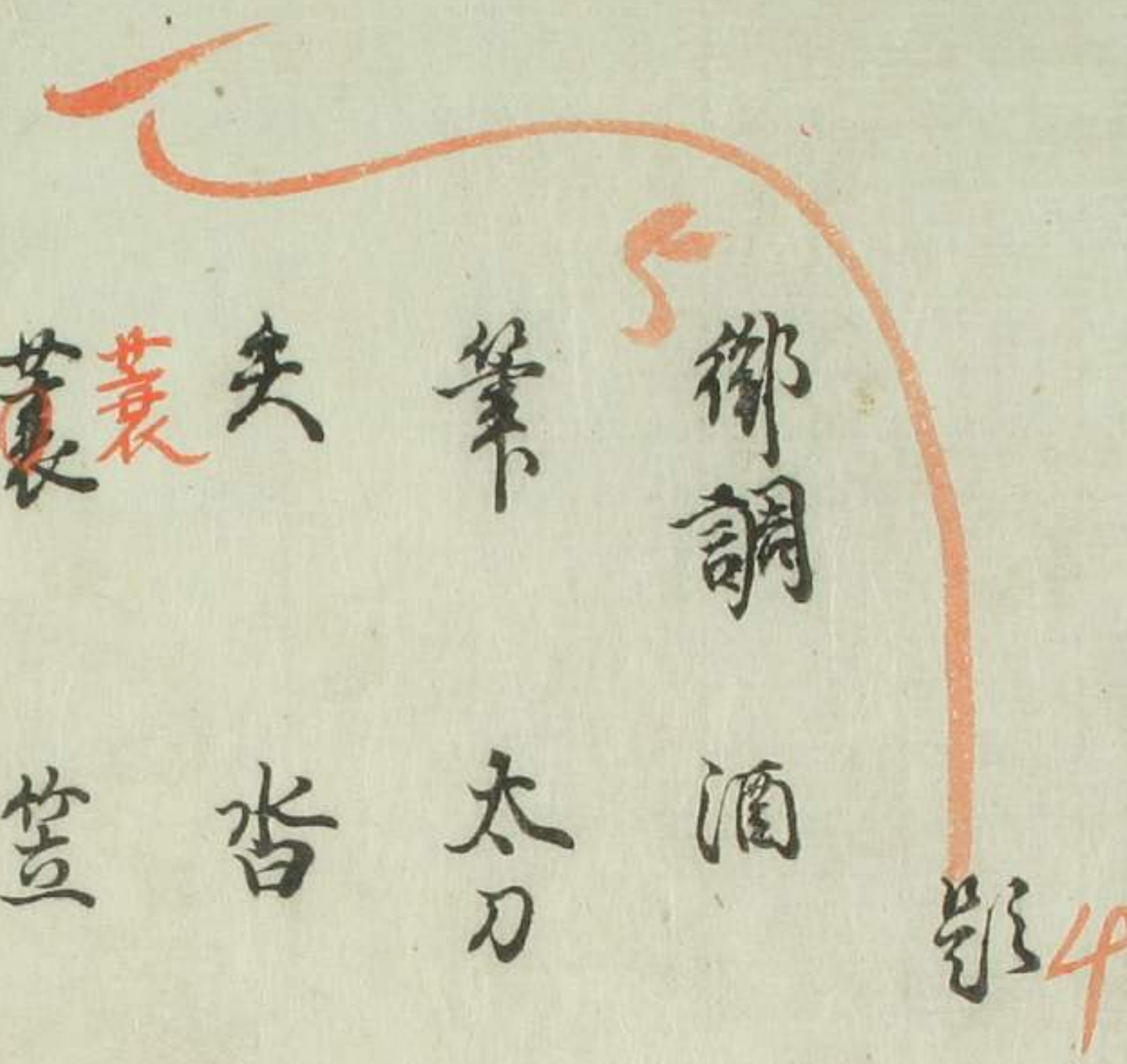
門
1765
92
卷



鏡	鐘
梯 ^梯	
被 ^被	
麻	
志	率都
標	金
簪	寶
火	玉
棹 ^棹	簾
頭	



囊 ^囊	矢	筆	御調
笠	香	太刀	酒
琴	騰 ^騰	刀	藥
笛	杖	鞘 ^鞘	文
鼓 ^鼓	鞞 ^鞞	鞞 ^鞞	弓
			視



雜款十日 4

史本和帝抄卷第廿二



御調

三行分上

右指部

三行分上

氏名由部御

三

ゆらりてあけのふらけ
寛政元年廿五日
寛政元年廿五日
寛政元年廿五日

寛政元年廿五日

杜の民のつらさ
冷泉院山付大書
冷泉院山付大書

冷泉院山付大書

くろくわいのつらさ
安和元年大書
安和元年大書

安和元年大書

為感

見しむるおのえ
おのえ
おのえ

ツ

フ

ク

X 7/2

五三九新言旅人 詠酒歌 聖 中洲の歌 言

酒 三行分ト 万六

三行分ト 國 國 國 國 國 國

六行歌 三行分ト 三行分ト 三行分ト

六行歌 三行分ト 三行分ト 三行分ト

三行分ト 三行分ト 三行分ト 三行分ト

三行分ト 三行分ト 三行分ト 三行分ト

三行分ト 三行分ト 三行分ト 三行分ト

大書年合徳元方山原院

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

此民收稼玄冬蒔一回畝ある年一万圓娛

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

十分一五三暖か

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あつちの酒 ^酒 祝 ^祝 丹後大娘 ^{丹後大娘}

あしひかしのつらき...
つらき

子百歳争合

年百歳争合

新後撰...
浪

由来生死二病長相隨除却...
却

某始

中納言家名

あしひかしのつらき...

久安二年毎日三箇中

政方の家御

あしひかしのつらき...

あしひかしのつらき...

花園の御家

あしひかしのつらき...

之末百歳争合...
又

花園の御家

あしひかしのつらき...
三行分た

あしひかしのつらき...

後醍醐天皇

あしひかしのつらき...

あしひかしのつらき...
1年
1年

花園の御家

あしひかしのつらき...

あしひかしのつらき...

中納言家名

あしひかしのつらき...
あしひかしのつらき...
あしひかしのつらき...

抄本新法百首

夜九多百首

朝 ^文 ^塵 ^{けに}

久安百首

首大御の御書

古指歌

家集百首

秋 ^五 ^文 ^合 ^之

百首并

家集百首

石 ^文 ^文

心 ^文 ^文

子 ^文 ^文

心 ^文 ^文

美 ^文 ^文

日

氏 ^文 ^文

大 ^文 ^文

日

信 ^文 ^文

昔 ^文 ^文

高 ^文 ^文

結 ^文 ^文

家 ^文 ^文

首 ^文 ^文

比 ^文 ^文

Phenomenon of the ...
信天翁の信

...
信天翁の信

...
信天翁の信

...
信天翁の信

三行分

...
信天翁の信

建保三年...

...
信天翁の信

...
信天翁の信

...
信天翁の信

...
信天翁の信

...
信天翁の信

嘉永六年一首并中 拾傷心なる

おのれいんしんすうしんりんのあいのたより刀お

4三行上 鞠 三行カトル

返り歌

夜半の月

おのれいんしんすうしんりんのあいのたよりにおし 色

心位知ある

おのれいんしんすうしんりんのあいのたより練

誰か子え

信実の信

おのれいんしんすうしんりんのあいのたより引

4三行下 三行カトル

文治六年一首并百首

皇太后の御成敗

おのれいんしんすうしんりんのあいのたより引

貞永六年十首歌合寄弓馬 常中納言定家

おのれいんしんすうしんりんのあいのたより引

藤原宗子弓馬

俊成の臣

おのれいんしんすうしんりんのあいのたより引

おのれいんしんすうしんりんのあいのたより引

久安百首

おのれいんしんすうしんりんのあいのたより引

おのれいんしんすうしんりんのあいのたより引

寛元四年日吉社歌合イ

名優の信

天仁天皇御紀事... 公琳... 正治二年

... 三行方... 正治二年

42号

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

あつたらふと天をききけ 諸君のおのかひに
いふはなるが
かき

万七 近江
あつたらふと天をききけ 諸君のおのかひに
いふはなるが
かき

万二
あつたらふと天をききけ 諸君のおのかひに
いふはなるが
かき

4 藤鷹行 三行分ト

源仲正

源仲正

あつたらふと天をききけ 諸君のおのかひに
いふはなるが
かき

源仲正

あつたらふと天をききけ 諸君のおのかひに
いふはなるが
かき

源仲正

新三
あつたらふと天をききけ 諸君のおのかひに
いふはなるが
かき

源仲正

万六
あつたらふと天をききけ 諸君のおのかひに
いふはなるが
かき

音

源仲正

あつたらふと天をききけ 諸君のおのかひに
いふはなるが
かき

源仲正

あつたらふと天をききけ 諸君のおのかひに
いふはなるが
かき

源仲正

あつたらふと天をききけ 諸君のおのかひに
いふはなるが
かき

源仲正

あつたらふと天をききけ 諸君のおのかひに
いふはなるが
かき

源仲正

たのむらひなすらりつむい
はのまはるは
い

と年

いふ人尾書

はらりりあすつこえさつわぬりくつ
の

しりりあすつこえさつわぬりくつ
の

杖 4三
三行分ん

正治二年百首

おのこた言

北男
はらりりあすつこえさつわぬりくつ
の

おのこた言

中務右のみな漢書

たのむらひなすらりつむい
はのまはるは
い

日

おのこた言

あつれいあすつこえさつわぬりくつ
の

我家

任美右言

あつれいあすつこえさつわぬりくつ
の

西條百首

後松右言

あつれいあすつこえさつわぬりくつ
の

西條百人言

西條百人

あつれいあすつこえさつわぬりくつ
の

和久四年百首言

二条院六言

あつれいあすつこえさつわぬりくつ
の

日

二条院百人言言

Om... (decorative flourish)

日隠... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

日

同十一年毎目一箇中

物... (vertical text)

三行分上

書中... (vertical text)

信... (vertical text)

六帖題澤

信... (vertical text)

日

信... (vertical text)

日

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

信... (vertical text)

日

信... (vertical text)

あまふ月夜

桂中納言定家

寅イ

ふゆのうめののけきしよりつるぬせぬありあの

中院入左大臣兼元永元年弁合又月夜

八条入左大臣

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

4三下
三行分ん

堀河院山内右大臣 権大納言三行分ん

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

久世右大臣 兼通右大臣

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

三行分ん

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

日 三行分ん

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

光俊右大臣

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

兼通右大臣

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

日 兼通右大臣

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

あつたつた

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

三行分ん

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

日 三行分ん

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

光俊右大臣

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

兼通右大臣

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

日 兼通右大臣

あつたつたのけきしよりつるぬせぬありあの

あつたつた

日破やれり
信実録
思破ひらけ
中務親王強念

日破まはれお夏乃差
近江守平重盛

近江守平重盛

日破まはれお夏乃差
日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

日破まはれお夏乃差

五世歌一と

信長公御書

我^初齡^次 ~~...~~ 諸君の御書に *Parsons* ~~...~~

百首中

筆蹟

あふみの園のありと ~~...~~ *Parsons* ~~...~~ 遠保三年名百首 後二位家隆

何よみの *Parsons* の ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~

牛^下 ~~...~~ 三行分

永久四年百首

後松約旨

あふみの ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~

日

仲の約旨

あふみの ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~

日

源の約旨

あふみの ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~

指中内之 ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~

あふみの ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~

和歌

あふみの ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~ *Parsons* の ~~...~~

久永二年七月百首

後松院日記

末世の... 笛

毎日の事

民の由緒

433

...の... 笛

...の... 笛

信長

...の... 笛

...の... 笛

...の... 笛

...の... 笛

...

日

隆信

...の... 笛

日

信長

...の... 笛

日

中...

...の... 笛

...の... 笛

...の... 笛

...の... 笛

押中歌法百首

後九葉百首

後中歌法百首 ^秋 後九葉百首

と枯歌

名なき百首

五 ^ち 後中歌法百首

名なき百首

日 後中歌法百首

名なき百首

日 後中歌法百首

名なき百首

日 後中歌法百首

名なき百首

日 後中歌法百首

家集

名なき百首

日 後中歌法百首

名なき百首

日 後中歌法百首

三行分

名なき百首

日 後中歌法百首

百首

名なき百首

深 ね
~~~~~

長久保  
~~~~~

長久保
~~~~~

~~~~~

~~~~~

丸

~~~~~

~~~~~

中

~~~~~

~~~~~

~~~~~

鐘

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

あまのつらき^しあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

女聞社歌合曉鹿

中納言 雅孝

あまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

あまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

あまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

あまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

あまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

あまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

百首弁

後白河院

あまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

洞院攝政家百首連懷

あまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

楊中納言百首

あまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

改 意之平中百首

あまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

百首弁曉

後二位 藤原

あまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

歌集

西行

あまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^らあまのつらき^ら

弘長二年毎百首年 氏名方表

三拍歌

あつち ^鐘 の音 ^日 したたけとらうらぬ

寛二年百首年

後多拍院日表

ひまわり ^日 のあひかりのこころ

前中納言定家

とくろ ^暮 のあひかりのこころ ^合 のこころ

建保三年内裏秋十五前 歌合旅 日

あつち ^お のあひかりのこころ ^お のあひかりのこころ

白首百首年

白首百首年

あつち ^{題不知} のあひかりのこころ ^お のあひかりのこころ

白首百首年

並馬和吉

栞 ^合 のあひかりのこころ ^お のあひかりのこころ

歌ふ

中納言定家

あつち ^鐘 のあひかりのこころ ^お のあひかりのこころ

白首百首年

法橋源昭

あつち ^音 のあひかりのこころ ^お のあひかりのこころ

日

西三位経家

あつち ^合 のあひかりのこころ ^お のあひかりのこころ

白首百首年

白首百首年

あつち ^お のあひかりのこころ ^お のあひかりのこころ

あふさるわねのしたみちしりあて芳よくれぬ入あひぬ
 文永二七月百何五女首首 赤良々雅有
 くれぬとて今あひのひよあつて國家の月つきよま
 源惠心僧正泉障子繪歌一 赤良々おね
 あふさるわねの戸あひぬわねの芳あつてあひぬ
 自應二平同歌百首 成る由歌御
 うつり入あひのひよあつてうつりのあひぬ
 韻字歌中一 七何芳乃久行客 遠嶺舟中送きと境
 前中細きまある
 うつりあひぬのひよあつてうつりのあひぬ
 おまふりしりあていひぬ
 前中細きまある
 赤良々わねのひよあつてうつりのあひぬ
 鐘

あふさるわねのひよあつてうつりのあひぬ
 文永二七月百何五女首首 赤良々雅有
 くれぬとて今あひのひよあつて國家の月つきよま
 源惠心僧正泉障子繪歌一 赤良々おね
 あふさるわねの戸あひぬわねの芳あつてあひぬ
 自應二平同歌百首 成る由歌御
 うつり入あひのひよあつてうつりのあひぬ
 韻字歌中一 七何芳乃久行客 遠嶺舟中送きと境
 前中細きまある
 うつりあひぬのひよあつてうつりのあひぬ
 おまふりしりあていひぬ
 前中細きまある
 赤良々わねのひよあつてうつりのあひぬ
 鐘

無常

百之有無常
原 結んたるを

435
金 三行方人

あたらしく... 中絶の...
あたらしく... 中絶の...

是の... 榮元...
是の... 榮元...

長年

あたらしく... 長年...
あたらしく... 長年...

般 高門院大佛

あたらしく... 長年...
あたらしく... 長年...

達也三平毎日首中後 民がる家

あたらしく... 達也三平毎日首中後 民がる家

あたらしく... 長年...

あたらしく... 源伸心

あたらしく... 源伸心

此所ハ二行
分トル

我鐘
は
西行
権傳正公卿

権傳正公卿
西行
は

は
俊
良

色に
是
三行分トル

三種寶物の
法橋

三種寶物の
法橋
三行分トル

久安百首

久安百首
法橋

久安百首
法橋

久安百首
法橋

久安百首
法橋

久安百首
法橋

謹
弘長元年百首不達亭
國々々為歌
あはれに思ふ

五三七セリクカ
世少女
乱
ありといをすわも

玉
玉
玉

中央原光館長

あはれに思ふ

玉
玉
玉

和舟の浦
延吉
永
あはれに思ふ

あはれに思ふ

寶治二年百首寄玉意
信光館長

あはれに思ふ

あはれに思ふ

日
日
日

あはれに思ふ

日
日
日

あはれに思ふ

日
日
日

若原四半合

兼一
大
若中納言由忠

御
御
御
御
御
御
御
御
御
御

遠志入半首合 後二位由忠

秋
秋
秋
秋
秋
秋
秋
秋
秋
秋

南庄回首中

若原由忠

に
に
に
に
に
に
に
に
に
に

若原中

若原由忠

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

伊勢大納言

兼一
有
有

新
新
新
新
新
新
新
新
新
新

な
な
な
な
な
な
な
な
な
な

伊勢大納言

い
い
い
い
い
い
い
い
い
い

若原中

若原由忠

お
お
お
お
お
お
お
お
お
お

若原中

若原由忠

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

秋
月

兼一

嘉應元年五月詔命法服以爲命

美服法服

法服者天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也

日者法服者命

原光行

天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也
天子之制也

三下

武王天人相曰石也則其右足切後文王即位
又獻之玉人相曰石也則左足切後成王即位
和抱其玉璞矣楚山之下三日三夜浸早繼
之以血玉人治之得寶名曰和氏璧云

鏡

三行分

古恒銘鏡

古恒銘鏡

日
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡

古恒銘鏡

古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡
古恒銘鏡

Handwritten cursive text on the left side of the page.

Handwritten cursive text with a red character '日' (sun/day) written above it.

之要百首

Handwritten cursive text with a red character '鏡' (mirror) written above it.

カ

Handwritten cursive text with a red character '神' (god) written above it.

嘉元元年竹園十首出教山神

Handwritten cursive text with a red character '鏡' (mirror) written above it.

カ

前中納言

Handwritten cursive text with a red character '白' (white) written above it.

歌子

カ

Handwritten cursive text with a red character '鏡' (mirror) written above it.

日

カ

Handwritten cursive text with a red character '古' (old) written above it.

カ

Handwritten cursive text with a red character '増' (increase) written above it.

カ

Handwritten cursive text with a red character '鏡' (mirror) written above it.

前中納言

仔細國より東府より百練鏡

能国は師

五月册

仁安二年八月... 鏡かな

仁安二年八月... 盛秋

経部成神

三月... 上

は... 臥

久の月... 一

ゆるん...

新古... 永元元年...

新古...

あつ... 永元元年...

永元元年...

永元元年...

左... の...

家集...

無... の...

影...

万... の...

西... の...

四... の...

747

わが国の歴史は松久の百首に在り

松久の百首

松久の百首

明治二十五年百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

日

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

松久の百首

水無瀬鼓ヶ谷海辺見重

ついでにの枕

若中納言三浦泰隆

あはれなるの枕をさかしてさかしてさかしてさかして

新後撰御依

ついでにの枕

ついでに

あはれなるの枕をさかしてさかしてさかしてさかして

同院攝政家首首旅

後九条の太夫

あはれなるの枕をさかしてさかしてさかしてさかして

あはれなるの枕

若中納言三浦泰隆

あはれなるの枕をさかしてさかしてさかしてさかして

あはれなるの枕

あはれなる

若中納言三浦泰隆

中納言のみと後念

あはれなるの枕をさかしてさかしてさかしてさかして

あはれなるの枕

若中納言三浦泰隆

あはれなるの枕をさかしてさかしてさかしてさかして

あはれなるの枕

若中納言三浦泰隆

若中納言三浦泰隆

あはれなるの枕をさかしてさかしてさかしてさかして

若中納言三浦泰隆

若中納言三浦泰隆

あはれなるの枕をさかしてさかしてさかしてさかして

貞永元年八月十五夜三首歌合

あはれなるの枕

藤原門院かお

あはれなるの枕をさかしてさかしてさかしてさかして

あはれなる

451

二二
三六

千五百首^{百一首}合^わを^て枕^具記^録下^臣

〜^{（費心二年百首）}から^たは^らひ^ぬ〜^{（おほい）}

〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜

神のたま〜

五十一首^{百一首}合^わ〜

〜

Purification of the soul
〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜

〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜

神のたま〜

五十一首^{百一首}合^わ〜

〜

花
〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜

神のたま〜

同院攝政家百首逢^あ合^わ意^{（い）} 倭^{（や）}女^{（め）}

〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜

難^{（た）}事^{（じ）}中^{（ちゆう）}費^{（ひ）} 光^{（あ）}明^{（めい）}者^{（しや）}合^{（あ）}意^{（い）}抄^{（しやう）}

〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜

〜

〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜^{（おほい）}〜

〜

〜

のりかきしめり母の枕手まつらおひらきしきりしめりなたるさきけり家

百首の枕な軟 結海院入念二首のみ

の枕い中のりかきしめり母の枕な軟おひらきしきりしめりな軟

ち宿の枕 傳美の臣

あつらひしめり母の枕あつのりかきしめり母の枕あつおひらきしきりしめりあつ

あまきつりや枕 源仲正

枕い中のりかきしめり母の枕あつおひらきしきりしめりあつ

るはより三首の合議書 法橋の法

る枕あつのりかきしめり母の枕あつおひらきしきりしめりあつ

るはより三首の合議書 法橋の法

あつらひしめり母の枕あつおひらきしきりしめりあつ

あまきつりや枕 源仲正

あつらひしめり母の枕あつおひらきしきりしめりあつ

あまきつりや枕

あまきつりや枕 源仲正

あつらひしめり母の枕あつおひらきしきりしめりあつ

あまきつりや枕

あつらひしめり母の枕あつおひらきしきりしめりあつ

あまきつりや枕

あつらひしめり母の枕あつおひらきしきりしめりあつ

みずのうへに... (Red annotations: 新三二, 希, ね, せ)

はらゆくのねの... (Red annotations: 新三, 日)

はら... (Red annotations: 新三, 三行分トル, 新三, ね, へ)

あやわら... (Red annotations: 新三, 片, 新三)

り... (Red annotations: 新三, 三行分トル, 新三)

ゆ... (Red annotations: 新三, 中納言)

お... (Red annotations: 新三)

ん

ら

なまのひら

きしん二十年二月三日合 なるたけ

あの一のひら^四のひら^三のひら^二のひら^一

あの中^二のひら^一のひら^一

あの中^二のひら^一のひら^一のひら^一のひら^一

あの中^二のひら^一

あの中^二のひら^一

あの中^二のひら^一のひら^一のひら^一のひら^一

あの中^二のひら^一のひら^一

あの中^二のひら^一のひら^一のひら^一のひら^一

あの中^二のひら^一

あの中^二のひら^一

あの中^二のひら^一のひら^一のひら^一のひら^一

あの中^二のひら^一のひら^一

あの中^二のひら^一のひら^一のひら^一のひら^一

あの中^二のひら^一

あの中^二のひら^一

あの中^二のひら^一

あの中^二のひら^一のひら^一のひら^一のひら^一

あの中^二のひら^一

あの中^二のひら^一のひら^一のひら^一のひら^一

あの中^二のひら^一のひら^一

あの中^二のひら^一

あの中^二のひら^一

らよとらりあまのりたれねたのりうらうらそ河あたま
に判ちあぬまをすねの門河あたま

うらうらうらそ河あたま
うらうらうらそ河あたま
うらうらうらそ河あたま
うらうらうらそ河あたま
うらうらうらそ河あたま
うらうらうらそ河あたま
うらうらうらそ河あたま
うらうらうらそ河あたま

5

5
下

ねまゝのうらうらうらそ河あたま
ねまゝのうらうらうらそ河あたま
ねまゝのうらうらうらそ河あたま
ねまゝのうらうらうらそ河あたま
ねまゝのうらうらうらそ河あたま

4
三行分た

三行分た

ねまゝの

ねまゝの

うらうらうらそ河あたま
うらうらうらそ河あたま
うらうらうらそ河あたま
うらうらうらそ河あたま
うらうらうらそ河あたま

うらうらうらそ河あたま

うらうらうらそ河あたま

延喜年中

後醍醐天皇

あはれ

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

四葉巻撰
三行分

三行分

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

伝書約信

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

改まる由

七

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

改まる由

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

傳書約信

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

傳書約信

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

傳書約信

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

傳書約信

458

新後拾哀傳

あまのつらき... 新後拾哀傳
あまのつらき... 新後拾哀傳

あまのつらき... 新後拾哀傳
あまのつらき... 新後拾哀傳

建長八年百首并命 後九条内大臣

あまのつらき... 新後拾哀傳
あまのつらき... 新後拾哀傳

あまのつらき... 新後拾哀傳
あまのつらき... 新後拾哀傳

あまのつらき... 新後拾哀傳
あまのつらき... 新後拾哀傳

あまのつらき... 新後拾哀傳
あまのつらき... 新後拾哀傳

あまのつらき... 新後拾哀傳
あまのつらき... 新後拾哀傳

見我妹子 秋 中納言 殿

いふくさくさ 長三年毎日一首中

わけよ 叶 出 百首中 氏名為 御

花 一文字百首 昔中納言 妹

新 年 月

新六五 末 日 氏名為 御

十 髪醫 三行分上 氏名 郎 櫛

百 女子 氏名 女 氏名 妹

六帖歌

後二位左大臣

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

諸
押頭
三行分上

後二位左大臣

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

光俊の長

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

三位左大臣

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

後二位左大臣

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

後二位左大臣

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり
あはれなるものなりけり

右者... *は* *か*

... *日* *行* *信* *名*

... *日* *時* *信* *甫* *八月*

被^レ枝^ノ麻 *三行分上*

回^ルぬ^ル

...

... *日* *新*

... *日* *我*

光^レ信^ノ約^シ信^ト

... *日* *追* *爪*

河院^ノ持^テ政^ノ家^ノ百^首様 *出* *長* *約* *信*

... *社* *葉* *錦*

為^レ家^ノ公^ノ家^ノ百^首 *信* *二* *信* *家* *信* *名*

... *日* *航* *信* *名*

文治^六年^五社^百首 *皇* *天* *者* *文* *志* *人* *信* *名*

... *今* *實* *信* *名*

ぬ^ル *人* *也*

... *万* *十* *三* *我* *信* *名*

新に 後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

心 信之 後

張弁 中 後

西 中 後

後 中 後

後 中 後

後 中 後

後 中 後

後 中 後

後 中 後

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

王佐日記

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

後鳥羽院中時ノ撰十首奇合 如新法保

763

あつりしそりひよきり家屋の妙しうらりりりりり

喜多院入道家五十首奇旅 常道は所

りるれいりらりりりりりりりりりりりりりりりりり

百首奇後患 前中納り

かりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

標 三行分ん

百首奇

后二位

永世 銚鹿 結 拾遺 建保三年内大臣家百首集其所感 高相 先皇院入道五十首奇

后三位

あつりしそりひよきり家屋の妙しうらりりりりりり

あつりしそりひよ

大納り

あつりしそりひよきり家屋の妙しうらりりりりりり

あつりし

后二位

あつりしそりひよきり家屋の妙しうらりりりりりり

あつりし

后二位

あつりしそりひよきり家屋の妙しうらりりりりりり

あつりし

后二位

あつりしそりひよきり家屋の妙しうらりりりりりり

あつりし

中納り

764

夫木和歌抄卷第三十一
終

女

三三
我れおこし
わかしんか
あまのうらま

他馬の女
陸奥

三三
日
かめやち
わかしんか
あまのうらま
我れおこし
わかしんか
あまのうらま

大伴孫河丸

三三
日
あまのうらま
あまのうらま
あまのうらま
あまのうらま

中初之遊指白

三七
日
あまのうらま
あまのうらま
あまのうらま
あまのうらま

日
あまのうらま
あまのうらま
あまのうらま
あまのうらま

よらう入

三七
日
あまのうらま
あまのうらま
あまのうらま
あまのうらま

